



## 富士通<6702>、電池製造子会社のFDK<6955>の株式45%を台湾の電子部品メーカーSILITECH TECHNOLOGYに売却



富士通は、デジタル技術とデータを駆使したDX（デジタルトランスフォーメーション）企業への変革を進める中で、FDKの電池・電子事業を非中核事業と位置付け、売却先を探していた。譲渡先のSILITECH TECHNOLOGY

CORPORATIONは、台湾電子部品大手のPSAグループの傘下企業。SILITECHは、TOB（株式公開買い付け）を通じて富士通が保有する約59%のうち45%を取得し、FDKを持ち分法適用関連会社とする。中華圏やその他アジア、欧米での販売チャンネルを活用し、FDKの新規顧客獲得を支援する。また、調達・製造分野の効率改善や、電池と電子製品を組み合わせたモジュールユニットの開発などでの相乗効果を見込む。SILITECHによる買付代金は約67億5400万円。買付価格は1株につき435円。TOB公表前営業日の終値640円に対して32.03%のディスカウントとなる。TOB終了後もFDKの東証スタンダード市場への上場は維持される。

買付予定数は1552万7400株（所有割合45.00%）で、上限・下限ともに同数。富士通以外の少数株主の応募は想定していない。買付期間は2025年2月13日から3月13日までの20営業日。決済の開始日は3月21日。公開買付代理人はSBI証券。

FDKはTOBに賛同の意見を表明するとともに、応募するか否かについては株主の判断に委ねるとしている。